

□特 集

平成 26 年度一般労働市場の概況

京都府内の雇用情勢は、
一部に厳しさが見られるものの、改善している。

京都労働局職業安定部職業安定課

全国の状況

1 全国の雇用、失業の動き

平成 26 年度の雇用失業情勢をみますと、労働力人口は 6,593 万人で前年度に比べ 15 万人増加 (0.2% 増) になりました。

就業者数は 6,360 万人で同 38 万人増加 (0.6% 増) になりました。

完全失業者数は 233 万人となり、前年度に比べ 23 万人減少 (9.0% 減) しました。

また、完全失業率は 3.5% と前年度に比べ 0.4 ポイント低下しました。 (第 1 表)

第 1 表 労働力主要指標

(単位：万人、%)

区分	労働力人口	就業者	完全失業者	完全失業率
平成 22 年度	6,630	6,301	328	4.9
23	6,578	6,280	298	4.5
24	6,555	6,275	280	4.3
25	6,578	6,322	256	3.9
26	6,593	6,360	233	3.5

資料出所：総務省「労働力調査」
(22,23 年度は、補完推計値)

雇用者は、全産業で 5,607 万人で前年度に比べ 43 万人増加 (0.8% 増) しました。

また、規模別雇用者数の構成比をみますと、1～29 人で 30.7% と全体の約三分の一を占めています。 (第 2 表)

第 2 表 規模別雇用者数

(単位：万人)

規 模	26 年度 平 均	25 年度 平 均
1～29 人	1,533	1,541
30～99 人	863	860
100～499 人	1,044	1,023
500～999 人	366	356
1,000 人以上	1,183	1,168

資料出所：総務省「労働力調査」
(注)数字は農林業を除く。

2 労働力需給の動き

(1) 一般職業紹介状況

ア 平成 26 年度の有効求人倍率 (新規学卒者を除き、パートタイムを含む。) は 1.11 倍となり、前年度の 0.97 倍から 0.14 ポイント上昇しました。

四半期別に季節調整値をみますと、26 年 4～6 月期 1.09 倍、7～9 月期 1.10 倍、10～12 月期 1.12 倍、27 年 1～3 月期 1.15 倍となりました。

平成 26 年度月平均をみますと、新規求職申込件数は 498,643 件 (対前年度増減率 5.7% 減、5 年連続の減少)、月間有効求職者数は 2,065,567 件 (同 7.6% 減、5 年連続の減少)、新規求人数は 840,423 人 (同 3.6% 増、5 年連続の増加)、月間有効求人数は 2,298,005 人 (同 5.5% 増、5 年連続の増加) となり、就職件数は 166,428 件 (同 5.3% 減、3 年連続の減少) となりました。

(第 3 表)

第3表 一般職業紹介状況

(単位：人、件、%)

項 目	26年度 月平均	対前年度 増減率
新規求職申込件数	498,643	▲ 5.7
月間有効求職者数	2,065,567	▲ 7.6
新規求人数	840,423	3.6
月間有効求人数	2,298,005	5.5
就職件数	166,428	▲ 5.3
新規求人倍率	1.69	0.16
有効求人倍率	1.11	0.14
就職率(対新規)	33.4	0.2
充足率(対新規)	19.8	▲ 1.9

(注)新規学卒者を除き、パートタイム含む。

イ 新規求人(新規学卒者及びパートタイムを除く。)の年度計では2.1%の増加となり、5年連続の増加となりました。

主要産業についてみますと、建設業1.2%減、製造業7.6%増、情報通信業3.8%減、運輸業、郵便業0.1%減、卸売業、小売業4.6%増、宿泊業、飲食サービス業8.0%増、医療、福祉9.0%増、サービス業(他に分類されないもの)3.9%減となっています。(第4表)

第4表 産業別一般新規求人状況

(単位：人、%)

産業別(抜粋)	26年度計	26年度 月平均	対前年度 増減率
産 業 計	6,143,546	511,962	2.1
建 設 業	725,765	60,480	▲ 1.2
製 造 業	680,540	56,712	7.6
情 報 通 信 業	272,058	22,672	▲ 3.8
運 輸 業, 郵 便 業	432,984	36,082	▲ 0.1
卸 売 業, 小 売 業	733,493	61,124	4.6
宿 泊 業, 飲 食 サ ー ビ ス 業	331,689	27,641	8.0
医 療, 福 祉	1,181,998	98,500	9.0
サ ー ビ ス 業	947,218	78,935	▲ 3.9

(注)新規学卒者及びパートタイムを除く。

内訳と合計は一致しない。

ウ 新規求人(新規学卒者及びパートタイムを除く。)を規模別にみますと、29人以下2.7%増、30～99人2.3%増、100～299人0.3%減、300～499人3.0%減、500～999人1.4%増、1000人以上1.5%減となりました。(第5表)

第5表 事業所規模別一般新規求人状況

(単位：人、%)

規 模	26年度計	26年度 月平均	対前年度 増減率
29人以下	4,024,436	335,370	2.7
30～99人	1,329,549	110,796	2.3
100～299人	531,420	44,285	▲ 0.3
300～499人	111,193	9,266	▲ 3.0
500～999人	75,409	6,284	1.4
1,000人以上	71,539	5,962	▲ 1.5

(注)新規学卒者及びパートタイムを除く。

エ パートタイムの職業紹介状況をみますと、平成26年度月平均で、新規求職申込件数は148,600件(対前年度増減率2.1%減)、月間有効求職者数は629,148人(同2.4%減)となり、新規求人数は328,461人(同5.9%増)、月間有効求人数は888,389人(同7.6%増)となり、就職件数は62,722件(同3.9%減)となりました。(第6表)

第6表 パートタイム職業紹介状況

(単位：人、件、%)

項 目	26年度 月平均	対前年度 増減率
新規求職申込件数	148,600	▲ 2.1
月間有効求職者数	629,148	▲ 2.4
新規求人数	328,461	5.9
月間有効求人数	888,389	7.6
就職件数	62,722	▲ 3.9

オ 職業別の常用職業紹介状況（新規学卒者及びパートタイムを除く。平成26年8月内容）について、新規求職者の構成比を職業別にみますと男性では、生産工程の職業（16.5%）が最も大きく、以下、運搬・清掃・包装等の職業（14.4%）、販売の職業（13.0%）、事務的職業（12.8%）、専門的・技術的職業（12.4%）の順となっています。

一方、女性では事務的職業（47.9%）がほぼ半数を占め、次いで専門的・技術的職業（14.6%）、サービスの職業（14.4%）、販売の職業（7.2%）の順となっています。（第7表）

第7表 新規常用求職者の職業別申込状況

（単位：人）

職業別	男	女
職業計	172,156	135,261
管理的職業	1,228	92
専門的・技術的職業	21,409	19,724
事務的職業	22,120	64,727
販売の職業	22,299	9,673
サービスの職業	15,212	19,433
保安の職業	2,152	57
農林漁業の職業	1,876	341
生産工程の職業	28,450	7,721
輸送・機械運転の職業	14,280	366
建設・採掘の職業	7,224	84
運搬・清掃・包装等の職業	24,855	7,693

（注）平成26年8月内容

内訳は合計数と一致しない

職業別就職件数の構成比は、男性では、生産工程の職業（22.7%）が最も大きく、次いで輸送・機械運転の職業（13.4%）、運搬・清掃・包装等の職業（11.8%）と続いています。

女性では事務的職業（37.7%）、サービスの職業（24.2%）、専門的・技術的職業（18.9%）で特に大きい割合を占めており、これら3職業で全体の約8割を占めています。

新規求人数の構成比をみますと、専門的・技術的職業（23.3%）が最も大きく、次いでサービスの職業（18.6%）、販売の職業（12.5%）、生産工程の職業（11.8%）、事務的職業（10.3%）と続いています。（第8表）

第8表 新規求人数の職業別状況

（単位：人）

職業別	新規求人数
職業計	437,741
管理的職業	2,062
専門的・技術的職業	102,040
事務的職業	45,173
販売の職業	54,644
サービスの職業	81,602
保安の職業	13,631
農林漁業の職業	3,010
生産工程の職業	51,575
輸送・機械運転の職業	31,460
建設・採掘の職業	29,718
運搬・清掃・包装等の職業	22,826

（注）平成26年8月内容

(2) 日雇職業紹介状況

平成26年度の日雇職業紹介状況を月平均で見ますと、新規求職申込件数は505件で前年度に比べ15.8%減少。次期に繰り越す有効求職者数は6,370人で7.5%減少しました。

京都の状況

1 労働力需給の動き

(1) 一般職業紹介状況

ア 平成26年度の有効求人倍率（新規学卒者を除き、パートタイムを含む。）は1.06倍となり、前年度の0.94倍を0.12ポイント上回りました。

四半期別に原数値で見ますと、26年4～6月期0.93倍、7～9月期1.02倍、10～12月期1.15倍、27年1～3月期1.16倍となっています。

平成26年度計で見ますと、新規求職申込件数は136,240件（対前年度増減率4.5%減）、月間有効求職者数は月平均47,926人（同6.3%減）、新規求人数は225,446人（同4.0%増）、月間有効求人数は月平均50,780人（同6.0%増）となり、就職件数は42,991人（同7.4%減）となっています。（第9表）

第9表 一般職業紹介状況

（単位：人、件、%）

項目	26年度計	対前年度増減率
新規求職申込件数	136,240	▲4.5
月間有効求職者数(月平均)	47,926	▲6.3
新規求人数	225,446	4.0
月間有効求人数(月平均)	50,780	6.0
就職件数	42,991	▲7.4
新規求人倍率	1.65	0.13
有効求人倍率	1.06	0.12
就職率(対新規)	31.6	▲0.9
充足率(対新規)	19.0	▲2.4

（注）新規学卒者を除き、パートタイムを含む。

イ 新規求人（新規学卒者及びパートタイムを除く。）の年度計では0.8%の増加となり、5年連続の増加となりました。

主要産業についてみると、建設業（2.6%増）、製造業（12.5%増）、医療、福祉（1.7%増）は5年連続、サービス業（他に分類されないもの）

（4.0%増）は3年連続で増加となり、運輸業、郵便業（4.2%増）も増加しました。一方、情報通信業（4.8%減）、卸売業、小売業（1.7%減）、宿泊業、飲食サービス業（15.2%減）は減少しました。（第10表）

第10表 産業別一般新規求人状況

（単位：人、%）

産業別 (抜粋)	26年度計	26年度 月平均	対前年度 増減率
産 業 計	126,447	10,537	0.8
建 設 業	13,499	1,125	2.6
製 造 業	14,561	1,213	12.5
情 報 通 信 業	6,621	552	▲4.8
運 輸 業、郵 便 業	10,853	904	4.2
卸 売 業、小 売 業	17,641	1,470	▲1.7
宿 泊 業、飲 食 サ ー ビ ス 業	7,628	636	▲15.2
医 療、福 祉	23,141	1,928	1.7
サ ー ビ ス 業	12,886	1,074	4.0

（注）新規学卒者及びパートタイムを除く。
内訳は合計数と一致しない。

ウ 新規求人の事業所規模別構成比をみますと、29人以下で64.8%と6割以上を占めています。30～99人では20.1%、100～299人では10.2%、300～499人では2.1%、500～999人では1.5%、1,000人以上で1.2%となっています。

また、増減率は29人以下が1.4%増、30～99人が1.1%増、100～299人が1.3%増、300人～499人が7.2%増、500～999人が14.8%減、1,000人以上が25.4%減となっています。

（第11表）

第 11 表 事業所規模別一般新規求人状況

(単位：人、%)

規 模	26 年度計	26 年度 月平均	対前年度 増 減 率
29 人以下	81,967	6,831	1.4
30～99 人	25,468	2,122	1.1
100～299 人	12,935	1,078	1.3
300～499 人	2,667	222	7.2
500～999 人	1,929	161	▲ 14.8
1,000 人以上	1,481	123	▲ 25.4
計	126,447	10,537	0.8

(注)新規学卒者及びパートタイムを除く。

エ パートタイムの職業紹介状況をみますと、平成 26 年度計で、新規求職申込件数は 45,516 件 (対前年度増減率 1.4% 減)、月間有効求職者数は月平均 16,167 人 (同 1.7% 減) となり、新規求人数は 98,999 人 (同 8.4% 増)、月間有効求人数は月平均 21,906 人 (同 10.3% 増) となっています。(第 12 表)

第 12 表 パートタイム職業紹介状況

(単位：人、件、%)

項 目	26 年度計	対前年度 増 減 率
新規求職申込件数	45,516	▲ 1.4
月間有効求職者数(月平均)	16,167	▲ 1.7
新規求人数	98,999	8.4
月間有効求人数(月平均)	21,906	10.3
就職件数	18,994	▲ 6.1

オ 職業別の紹介状況 (平成 26 年 8 月内容、新規常用) について、職業別新規求職者の構成比をみますと、男性では、生産工程の職業 (15.6%) が最も大きく、以下、販売の職業 (15.5%)、専門的・技術的職業 (13.2%)、事務的職業 (12.7%)、運搬・清掃・包装等の職業 (11.2%)、サービスの職業 (10.1%) の順となっています。

一方、女性では事務的職業 (51.6%) が全体の約 5 割を占め、次いで専門的・技術的職業 (15.1%)、サービスの職業 (12.8%)、販売の職業 (8.1%)、生産工程の職業 (4.3%) と続いています。(第 13 表)

第 13 表 新規常用求職者の職業別申込状況

(単位：人)

職 業 別	男	女
職 業 計	3,812	3,123
管 理 的 職 業	23	2
専 門 的 ・ 技 術 的 職 業	503	471
事 務 的 職 業	486	1,610
販 売 の 職 業	589	254
サ ー ビ ス の 職 業	386	400
保 安 の 職 業	52	1
農 林 漁 業 の 職 業	36	7
生 産 工 程 の 職 業	594	135
輸 送 ・ 機 械 運 転 の 職 業	275	4
建 設 ・ 採 掘 の 職 業	133	0
運 搬 ・ 清 掃 ・ 包 装 等 の 職 業	426	76

(注)平成 26 年 8 月内容 (パートタイムを除く)
内訳は合計数と一致しない。

職業別就職件数の構成比は、男性では、生産工程の職業 (19.1%) が最も大きく、次いでサービスの職業 (14.2%)、輸送・機械運転の職業 (13.7%)、販売の職業 (12.7%) と続いています。女性では事務的職業 (46.0%)、サービスの職業 (20.2%)、専門的・技術的職業 (18.8%)、販売の職業 (6.5%) と続いています。

職業別新規求人数の構成比をみますと、専門的・技術的職業 (22.5%) が全体で一番多くを占めており、次いでサービスの職業 (19.4%)、販売の職業 (13.2%)、事務的職業 (10.8%)、生産工程の職業 (10.4%) と続いています。(第 14 表)

第 14 表 新規求人数の職業別状況

(単位：人)

職 業 別	新規求人数
職 業 計	9,063
管 理 的 職 業	43
専 門 的・技 術 的 職 業	2,038
事 務 的 職 業	980
販 売 の 職 業	1,195
サ ー ビ ス の 職 業	1,757
保 安 の 職 業	238
農 林 漁 業 の 職 業	43
生 産 工 程 の 職 業	947
輸 送・機 械 運 転 の 職 業	752
建 設・採 掘 の 職 業	609
運 搬・清 掃・包 装 等 の 職 業	461

(注)平成 26 年 8 月内容 (パートタイムを除く)

(2) 日雇職業紹介状況

平成 26 年度の日雇職業紹介状況を月平均で見ますと、新規求職申込件数は 22 件で前年度に比べ 15.4%減少しています。次期に繰り越す有効求職者は 719 人と前年度に比べ 2.6%増加しました。

参 考

全国・京都府における有効求人倍率の推移

